論文タイトル：このページは表紙です

英文タイトル：

執筆者名：

所属：

連絡先：

抄録（和文）

※600字程度で記入

抄録（英文）

※300 words 程度で記入

※英文抄録は専門家（論文内容についてある程度知識があり、英文校閲の能力があると判断されるネイティブもしくは同等の者）の校閲を経たものとする。

論文タイトル（このページからが本文です）

キーワード：日本語でキーワードを3～7語付すこと

1.原稿種別と頁数

頁数には、表題、本文、図、表、注、引用文献を含み、表紙・和文抄録・英文抄録は含まない。規定頁数を超過した原稿は受理しない。

研究論文 15 頁以内

研究レビュー論文 15 頁以内

研究ノート 10 頁以内

事例研究 10 頁以内

2.使用言語

原稿の使用言語は日本語（横書き）もしくは英語とする。

和文は、常用漢字、現代仮名遣いを用い、正しい日本語で書くこと。日本語のネイティブでない執筆者が和文で投稿する場合は、事前にネイティブの校閲を受けること。

執筆者が複数の場合、執筆代表者を連名者の筆頭に置くこと。

「拙著」「拙稿」等の表現や研究助成・共同研究者への謝辞等、投稿者名や所属機関が判明・推測できるような表現は使用しないこと。ただし、これらの記載が必要な場合は、採択決定後に加筆することができる。

3.原稿作成上の留意点

原稿はMicrosoft Wordで作成すること。原稿作成にあたっては、「『実務教育学研究』原稿フォーマット」も参考にし、以下の点を厳守すること。

・A4 横書き（1 頁あたり全角 40 字×36 行）とする。

・全角文字の大きさは 10～11 ポイントとする

・余白は上30ミリ、下35ミリ、左右30ミリとする。

・本文には、適宜、見出し（前後に１行スペース）、小見出し（前に１行スペース）を付ける。「注」及び「文献」の前にも１行スペースを入れる。

・「本文」「注」および「文献」は，全角文字を使用する。

・英文および算用数字は，半角文字を使用する。

・句読点は、読点は全角の「、」を、句点は全角の「。」を用いる。

・数字は、熟語・成語に含まれるもの以外は、アラビア数字を用いる。

・略語は、一般的に用いられているものに限り使用を認める。ただし、初出時に原語（外国語の場合は日本語の訳語も）を小括弧付で付す。

・外国人名は、先頭に姓、ファーストネームやミドルネームはイニシャルのみを記載する。なお、初出時に小括弧で断り書きを付したうえで、その後は性のみもしくはカタカナ書きも認める。

Thomas Alva Edisonの姓名表記：Edison,T.A.

Thomas Alva Edisonの初出時例：Edison,T.A.（以下、「エジソン」とする）

Edison,T.A.（以下、「Edison」）

・見出しは、算用数字で番号を付す。小見出しには半角の両括弧付算用数字を付すこと。

・図（写真）及び表は、本文中の適切な箇所にレイアウトして作成する。なお，図（写真）及び表のある頁も，余白は指定に従うこと。また、図（写真）及び表には、それぞれ通し番号を付し、表の表題は表の上部に、図の表題は図の下部に付すこと。（図（写真）及び表が 1 つのみの場合であっても、図1または表1と付すこと。）

・参考文献の記述方法は以下に倣い、本文全体で統一する。

①本文中での引用は以下の例にならい「著者の姓（出版年）」の形式で明記する。括弧は全角を、数字は半角を用いる。文末に引用元を示す場合、（著者の姓, 出版年）を句点の前に示す。

例：仁志（2000）は......、

清水（2013a）によれば

......Kiyohara et al.（2015）は

............と指摘されている（高橋・松井, 2000）。

②本文中で参照した文献は、本文末尾に参考文献としてまとめる。参考文献は和文・英文混合で、著者の姓のアルファベット順・年代の古い順に西暦で記し、同一著者・同一年の文献については、引用順にa、b、c...を付す。

③日本語の参考文献

図書の場合

・著者名（刊行年）『図書名』,出版社名.

論文等の場合

・著者名（刊行年）「タイトル」,『雑誌名』巻（号）,pp.○-○.

・著者名（刊行年）「タイトル」,編者名編『図書名』,出版社名,pp.○-○.

④外国語の参考文献（図書・雑誌名は斜体にすること）

図書の場合

・姓, 名イニシャル. (刊行年) 図書名,地名: 出版社.

論文等の場合

・姓, 名イニシャル. (刊行年)“論文等のタイトル”,雑誌名（italic）,巻:号, pp.○-○.

・姓, 名イニシャル. (刊行年) “論文等のタイトル”,in 姓, 名イニシャル. (ed.) 図書名（italic）,地名: 出版社,pp.○-○.

共著の場合

・姓, 名イニシャル. and 名イニシャル, 姓

編者が複数いる場合

・姓, 名イニシャル. (刊行年) “論文等のタイトル” ,in 姓, 名イニシャル. and 名イニシャル, 姓. (eds.) 図書名（italic）, 地名: 出版社, pp.○-○.

・注（引用文献は除く）は、脚注ではなく、文中の該当箇所に(1)、(2)…と表記し，原稿末尾にまとめて記載する。

4.投稿原稿の提出

原稿の投稿は、学会のホームページにある指示に従いメールで提出すること。提出物は、本文・表紙・和文抄録・英文抄録（以上は全てMicrosoft Wordで作成のもの）・本文に用いた図（写真）及び写真の元データ（jpegあるいはgif形式とする）とする。なお、確認用として、図表等を組み込んだ本文のPDFも合わせて提出すること。紙媒体で提出された場合は受理しない。

投稿締切は、毎年11月末日（日本時間23:59まで有効）とする。

原稿は返却しない。

本誌に掲載された論文等の著作権については，本学会に帰属する。また，著作者自身が，自己の著作物を利用する場合には，本学会の許諾を必要としない。

採択された論文等は、科学技術振興機構 J-STAGE に公開される予定である。